

リスナーの声

生放送の時間は、聴けるときは聴くようにしています。以前、はしじゅんの番組で、町の古い話を募集していて、昔あったUデパートのことを投稿したら、読んでもらったのがうれしかったです。私もラジオに出演したことがあるんです！

◆ラジオネーム：口癖はめんどくさい（栗山町・60代・女性）さん。



「はしじゅん」ってこんな人

本名 橋本 潤一郎
年齢 31歳
出身地 札幌市
好きな食べ物 ラーメン・妻の手料理
好きな事 鉄道・模型作り
今の夢 栗山をラジオのまちに



鉄道好きは小学校から

人生の分かれ道…… ラジオを選んだ

番組を持つようになってから、勤めてた会社から転職の話が出ました。転職すると番組を持つことはできません。仕事か、ラジオかという選択に迫られ、私はラジオを選びました。そして、今年1月、幼い頃からのラジオパーソナリティーになりたいという夢を、遂にかなえることができました。

栗山町に転入してきたのは昨年12月でした。その頃は、自分の結婚も重なり、転職、引越しも多忙だったため、去年の7月から休まずパーソナリティーを務めた日曜の番組は、1日だけ代役をお願いしました。

気を付けていることは、風邪などに罹らないよう体調管理のほか、声のケアです。水分を摂ること、のど飴も持ち歩き、収録前には発声練習を必ずしています。

町民となって……

ラジオで夢を

栗山町に住んでからの変化は、町のイベントに参加できるようになって、町の人と触れ合える機会が増えたので、自分の栗山での体験を全国に発信できるようになったことです。

苦労しているのは、ネタ集めや、テーマ決めです。たくさんリスナーさんから投稿をもらえるように、今週のテーマをスタッフみんな考えています。

栗山町はいろいろな話題があると思います。ラジオの仕事は飽きがこないんです。放送内容は、変えるところ、残していくところを、バランスよく構成して、リスナーさんを飽きさせないように工夫していきたいです。

まだまだ続く…… これからの夢

これからやりたいことは街頭録音です。スタジオの外に出て、まちの人に色々な話を聞き、それをラジオに流したいです。イベントの時はもちろん、普段の暮らしの中でのまちの人の声、生の様子をラジオを通して伝えたいです。

私は栗山町をラジオのまちにしたいと思っています。そして、自分がまちを

歩いていたら、皆さんに声をかけていただけるようになります。

また、若い世代の人にもっとラジオに興味を持ってもらいたいと思っています。栗山町は「スクラジ！くりやま」という番組ができたので、とてもうれしいです。

街頭録音を実現させて、たくさん町の人の声をラジオで届けることが、今の私の夢です。

エフエムくりやま開局1周年 夢をラジオにのせて

特集

昨年7月、地域に密着した情報発信を目指し、道内29局目の放送局となるエフエムくりやまが開局しました。現在は、ボランティアを含め13人のパーソナリティーが身近な情報を発信しています。中には、転職してラジオの道を選んだ人もいます。開局から1周年を迎えるエフエムくりやまで、地域の人たちと繋がりを深めながら、地域おこし協力隊として自身の夢を追いかけている橋本潤一郎さんや、ボランティアパーソナリティーの皆さんにお話を聞きました。

小学生のころ……

アナウンサーに憧れ

小学生の頃、アナウンサーに憧れ、放送委員会に入りました。普通は定型文を読むだけなんですけど、私だけ自分で考えたことを最後に話していました。毎回、何を話そうか考えるのが楽しかったし、人と違うことをするのが好きだったと思います。先生が三者面談の時に親にそのことを話し、

褒められたのがうれしかったのを覚えています。その後、中学生の時には放送局長もやり、高校生になっても放送局に入りました。

きっかけは……

友人が栗山町へ

大学生の時には、放送局と迷った末に、学園祭の実行委員会に入りました。アルバイト先の友人が、栗山町に住むことになったことがきっかけで、この町を知りました。そして、弟も栗山町の企業に就職したことで、ますます栗山町と繋がりができました。

大学卒業後、一般企業に勤めたので、アナウンサーになるという夢は諦めていました。役場職員の友人が、エフエムラジオ開局の



2023年、音楽イベント関連の打ち上げで放送を担当

担当部署に配属されたことがきっかけになって、パーソナリティーにどうかと誘われました。その時、栗山町ではラジオを担当する地域おこし協力隊を募集していたのですが、会社員のままでパーソナリティーをすることを決めました。

夢の番組を持つ いよいよ……

担当になったのは、日曜屋の生放送。番組タイトルは「くりふとな日曜日」。私が考えました。2時間30分の枠で、好きな鉄道の話や、クイズコーナーも作りました。栗山町のことをたくさん発信したくて、ちょうど弟が栗山青年団体協議会の代表を務めていたので、弟をゲストに町の話題を提供しました。

当時は、札幌の会社に週6日勤務し、日曜日は栗山で生放送。準備もあったので、とても大変でしたが、忙しい中にも次の日曜には何を話そうかと考える日々は充実していました。





スクラジ収録風景 継立小学校

「くりふとな日曜日」午後2時過ぎは、ボランティアパーソナリティーのコーナー

※今回紹介した3人のほか、腰本江里沙さん、塚本尚紀さん、野尻佳奈子さん、橋本昇二郎さん、溝渕咲希さんの5人を加えたボランティアパーソナリティー8人は、交替わりで出演します。

私たちボランティアパーソナリティーをしています！



吉野幸子さん (56歳)

子どもの頃、テレビやラジオが大好きで、いつか出る側になりたいと思っていました。職場の人や町外の友人も、レディモなどで番組を聞いてくれています。パーソナリティーになってから常にアンテナを張るようになりました。今でも本番はとても緊張しますが、夢は自分の番組を持つことです。



橋本公恵さん (76歳)

人に伝えたいと思うことがあり、ラジオなら可能かもと応募しました。今は、パーソナリティーの目線からラジオを聴くようになりました。原稿をただ読むだけでは伝わらないので、どう読めばリスナーに届くか、いつも考えます。ラジオを通じて自分の世代と若い世代の架け橋になるのが私の夢です。



榎 隆 英さん (38歳)

イベントで、パーソナリティーに向いてると言われたのがきっかけで、地域貢献と、人見知り改善を目的に始めました。町の大人たちは色々動いていてみんなの熱意がすごい！そこに加わっていることがうれしいです。ラジオにはひとりでも多くの町民が出演して、みんなに主役になって欲しいです。



継立小学校児童会長
尾泉 花 さん

収録は緊張したけど、楽しかったです。もっと、継小の紹介をしたかったのですが、また出演したいです！

【スクラジ放送日】

月・木曜 18:30～19:00
日曜 14:30～15:00

※(木・日曜は再放送)

【今後の放送予定】

- ・7、10、13日(栗山高)
- ・14、17、20日(栗山中)
- ・21、24、27日(継立小)
- ・28、31、8月3日(介護福祉学校)

過去の放送を配信中！▶



スクラジ！くりやま

スクールライフラジオくりやま

「スクラジ！くりやま」は、町内の児童・生徒・学生が交替わりに出演する新番組です。5月に放送された継立小学校の収録現場にお邪魔しました。第1回は6年生9人全員での出演です。収録は放課後に継立小学校で行われました。事前に用意した原稿を基に、アドリブにも対応できたのは、さすが6年生。しっかりと自分のことを話していました。みんな「緊張する」と言いながらも、終始笑い声が聞こえ、楽しく元気な収録に、見守る先生たちも笑顔。

今後町内の6校が番組を担当します。リアルな栗っ子たちの声をぜひお聴きください。



町民に安心を届ける ラジオを目指して

栗山町のみなさん、いつもエフエムくりやまをお聴きいただきましてありがとうございます。7月8日で、開局から1年が経過いたします。昨年5月に真新しいアンテナから試験電波を発射し、開局まで短期間で準備に追われていた日々がついにこのように思い出されます。

開局の目的の一つである、防災・減災については、幸いにもこの1年間は大きな自然災害も無く、緊急告知ラジオが自動起動することはありませんでした。しかし、全国では、大地震や大雨による自然災害は後を絶ちません。エフエムくりやまでも、いざというときの備えとして、町民へ正確な情報を発信することに努めてまいります。

また、一人でも多くの町民にラジオ番組の制作に参加していただきたく、昨年11月よりボランティアパーソナリティーによる番組制作を開始しました。そして、4月からは、「スクラジ！くりやま」も始まりました。

他のラジオ局との連携も強化してまいります。5月には日本コミュニティ協会に正式加入し

まして、通常はコミュニティFM局間で相互に番組の共同制作や、共通スポンサー獲得に向けた営業活動などを行うのですが、災害発生時は北海道総合通信局との「災害時等における協力体制に関する協定」に基づき、被災地での臨時災害FM局の設置や運営などの任務にあたります。

また、HBCラジオ様とも防災番組の共同制作なども行い、地域規模を超えて連携を深めてまいります。

運営2年目も、スタッフ7人で地道に運営してまいりますので、よろしくお願いいたします。



エフエムくりやま
放送局長 村田 峰史さん

同社ホームページは
こちら▶
FM Kuriyama
メッセージをお待ちしています。

